



湯浅町長 中学校で「子どもたちと湯浅の未来を語る」

湯浅中学校では、本年度より、子どもたちに郷土を愛し、誇りに思いう心を育む「ふるさと教育推進事業」に取り組みます。その第1弾として、6月4日（月）午後より、湯浅町長が湯浅中学校体育館で自身の経歴とともに湯浅町のこれからについて1時間、全校生徒に講話しました。子どもたちの教育の環境づくり、防災の観点からの施設づくりなど、これから20年後、30年後、そしてずっと先の町を守るための思いなどを語りました。

今回の町長の話を皮切りに年間10回ふるさと講座を実施する予定です。

ふるさと講座（ふるさと教育推進事業）

地域を活性化するために、何ができるのか。どのようにしてふるさと湯浅町を守っていくか。湯浅の未来を託すことができる人材育成を目的に開催します。

対象 湯浅中学校在籍の生徒

日時 月曜日の放課後 1コマ（45分程度）

年間10回程度開催

講座 語り部講座、ほか

町民の方々を毎回、ゲスト講師にお迎えし、さまざまなジャンルの講座を開設していきたいと考えています。

祝 世界最高齢に



湯浅町出身（現在横浜市在住）である都千代さん（旧姓 萩谷千代さん）が5月2日で世界最高齢の117歳になりました。

湯浅町出身者が明治、大正、昭和、平成といくつもの大変な時代を乗り越え、今も元気に過ごされていることに大変喜ばしく、そして勇気をもたらえます。いつまでもお元気で末永いお幸せを心よりお祈り申し上げます。

町指定文化財の新指定 旧栖原家住宅主屋

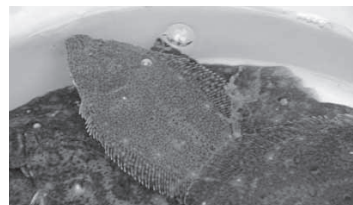
旧栖原家住宅は、伝建地区内にある旧醤油醸造家の建物です。明治前期に建てられた主屋を湯浅の醤油醸造家が住まう建築物の特色をよく残していることから湯浅町指定文化財に指定しました。旧栖原家住宅は、平成29年に公有化し、今後改修を進め、醤油醸造文化を伝える拠点施設として整備する予定です。



雨時々、ひらめ放流



6月6日（水）小雨降る中、湯浅湾漁協の青年代表者による活動のひとつである「ヒラメ稚魚の放流体験」が田村小学校の全児童と田栖川小学校の5年生8名により田村漁港と栖原海岸で行われました。



▶体長約9cmの稚魚、これぐらいの大ききまで育つと放流しても立派に育ちます

田村小学校 新プール完成！ 記念式典を行いました

6月21日（木）田村小学校新プール完成に伴い、記念式典が行われました。

記念式典第一部では、田区民センターにて200mバタフライの元世界記録保持者、アテネオリンピック銅メダリスト日本記録保持者の中西悠子選手が児童・保護者を対象に講演をしてくださいました。また、第二部では、町長、教育長のあいさつの後、新プールにて国体選手（和歌山県代表）の名倉和希選手、杉野紘子選手による模範水泳と水泳教室を行いました。田村小学校の子供たちは新しいプールに、終始笑顔で、「早くたくさん泳げるようになりたい。」「水泳が上手になりたい。」という声があり、新プールでの本格的な水泳の授業を楽しみにしています。

講演会 中西悠子選手

「夢を実現する方法」私がオリンピックでメダルを獲得するまで」



「歴史まちづくり法10周年記念シンポジウム」に参加しました

「歴史まちづくり法」は地域の歴史や文化を活かしたまちづくりを推進する目的で平成20年11月4日に施行され10周年を迎えました。それを記念したシンポジウムが歴史的景観都市協議会、文部科学省、農林水産省、国土交通省の主催により5月11日（金）に埼玉県川越市で行われました。湯浅町の歴史的風致を活かしたまちづくりの取組みが評価され、全国の市町から湯浅町が代表として選ばれました。8市町の首長らによるパネルディスカッションに、上山町長が出演し、湯浅町の取組みを全国に発信しました。



各市町と湯浅町上山町長による共同宣言の様子